

# HOT

ホットライン

# LINE

# NO.15

2011.Jun 春号

社会医療法人財団 池友会 福岡新水巻病院

## 福岡新水巻病院周産期センター

インタビュー記事

社会医療法人財団 池友会 福岡新水巻病院  
周産期センター長

白川 嘉継

副センター長

齋藤 竜太

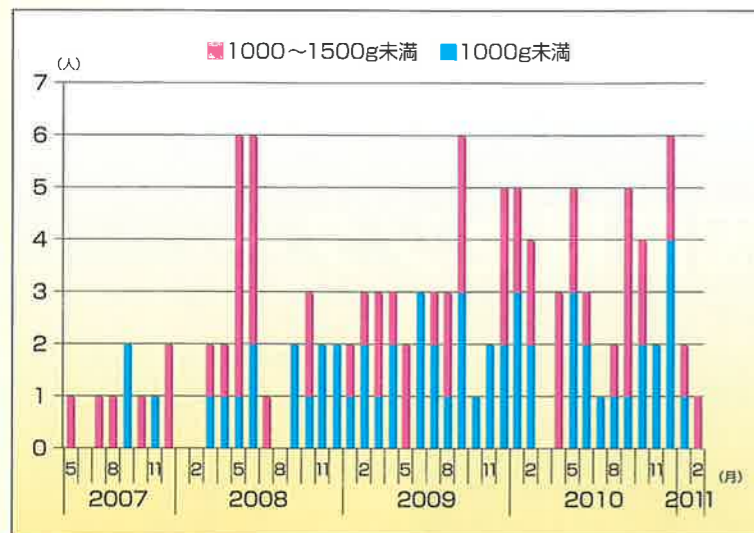
### 水巻助産院ひだまりの家

福岡水巻看護助産学校



# 福岡新水巻病院周産期センター

## 過去5年間で見る低体重児出生率の比率



周産期センター長  
**白川 嘉継**  
産業医科大学 S59年卒  
日本小児科学会専門医  
日本未熟児新生児学会評議員  
日本輸血・細胞治療学会評議員  
日本産婦人科・新生児血液学会幹事  
子どもの心相談医

次世代の我が国を背負う子どもの体とこころの健康を守る医療を展開できるように、最善の医療についてご家族とともに模索し、技術と知識と愛とを提供するよう常に努力します。

## — 新生児と母親を守るために —

福岡新水巻病院周産期センターは2007年5月に開院し、まもなく5年目を迎えます。

昨年1年間の分娩件数、NICU 新規入院患児数はそれぞれ283名、232名でした。

232名のうち21名が1000g未満の体重で出生した、超低出生体重児です。

この数は福岡県内で九州大学病院、福岡徳洲会病院に次いで3番目であり、総合周産期センターとよばれる、周産期医療の中心的な施設でも、20に満たない施設が数多く見られます。当院の超低出生体重児の特徴としては特に未熟な24週未満で出生した児が多いことです。昨年は22週、23週児がそれぞれ3名ずつ入院し、1名を除き退院してゆきました。500g未満の体重で出生した児も多く、開院してこれまで5名が退院し、順調に経過しています。これからも後遺症なき退院を目指し、子どもと家族と共に生きてゆきたいと考えています。



- ・在胎22週6日481g男児と在胎26週5日822g女児の双胎
- ・母体を天草からホワイトバードでヘリ搬送し、第1子は22週で経膈分娩したのち、第2子は26週で帝王切開で出生した。
- ・退院時の体重は第1子2702g 第2子2636g
- ・早く小さく生まれた子どもが後で大きく生まれた子どもを追い越した。

# 福岡新水巻病院周産期センター



周産期副センター長・産婦人科主任部長  
**齋藤 竜太**  
産業医科大学 H4年卒  
日本産科婦人科学会専門医

周産期センターのスタッフ一同、より安全なお産を心がけ、新しい命の一つ一つを大切に取り扱い、一人でも多くのお母さんと赤ちゃんの命を守りたいと考えています。

## — もの言わぬ子どもと、その母のために —

私はこれまでリスクを抱えた妊婦さんたちのお産を専門に扱ってきましたが、助かった命をお母さんたちがひとしおに喜ぶ姿を見て命の大切さを教えられてきました。昨年度は経膈分娩数108例、帝王切開術176例を経験し、命の危ないお母さんと赤ちゃんを守るために最善を尽くしています。不妊症治療も手掛けており、不妊症治療から妊娠、安全なお産へと一貫した管理も行っています。これからも当周産期センターではより安全なお産のために全力を尽くし、一つでも多くの尊い命を守っていければと考えています。

また昨年2月に芦屋の海が見える場所に「九州バースセンター うばがふところ」を立ち上げました。これは当センター産婦人科医師が安全管理を行う自然分娩の施設です。将来産婦人科医不足がさらに進むことを見据えた新しい試みで、この連携した取り組みは他の模範となり信頼できる施設であると県から評価され当センター産科とともに福岡県知事表彰を受けました。今後のさらなる発展が福岡県から期待されていますので、お産、子育ての支援、地域の活性化にこれまで以上に力を入れていきたいと考えています。



▲福岡県知事表彰を受ける福岡新水巻病院周産期副センター長 齋藤 竜太 先生



## 水巻助産院ひだまりの家



### みなさんの声

みずまき助産院ひだまりの家はおかげさまで有床開業して半年が過ぎました。

今回は入院中にお母さん方に書いていただいている「お産ノート」からひだまりの家に対する感想をご紹介します。

- ・無事出産でき、生まれたこどもの泣き声が聞こえ、すぐにお腹の上でこどもの温かさを感じることができ、とても幸せでした。
- ・世の中のお産がもっとフリースタイルで産めるようになったら素敵。
- ・良いお産→楽しい育児につながるんだと思います。
- ・私の思っていた以上にすばらしい経験ができました。
- ・実際のお産は想像を超えて本当に素敵で感動的な素晴らしいお産になりました！
- ・今後出産される皆さまへ…自分の宝物をみつけてください。家族でできる出産で！！
- ・ぜいたくを味わうよりも自然とやさしさで愛情のある「ひだまりの家」を私はおすすめしますよ。

私たち助産婦もひとりひとりのお産が宝物です。  
お母さん、赤ちゃん、そしてお父さんや兄弟姉妹…ご家族に、大切に大切に寄り添う気持ちでありたいと思います。そんなあったかな心がほっこりゆるむお産で子育てをはじめませんか。

みずまき助産院ひだまりの家  
院長 若松 寿美恵



## 福岡水巻看護助産学校

# 合格おめでとう！

## 看護師国家試験 80名 全員合格！！

3月25日、第100回看護師国家試験の合格発表があり、80名全員見事合格をしました！当日学内は駆け付けた卒業生の歓喜の声に包まれ、みんなで喜び合いました！  
本当に本当におめでとう！！

3月11日、本校初めての卒業式を行いました。来賓、保護者、実習場の指導者の皆様、教職員が見守る中、卒業生一人ひとりが卒業証書を受け取りました。入学時からとても成長した学生の姿に会場中が涙しました。

看護師への道は決して平坦ではありません。沢山の専門的な必修講義、厳しい臨床実習を終えたかと思えば、連日昼夜に及ぶ国家試験に向けての勉強！勉強！！勉強！！そしてようやく看護師国家試験を突破して初めて栄光が待っています。

泣いたり笑ったり怒ったり。。3年間はあっという間に、でも濃密に過ぎていきます。

私たち教職員はそのとき、その瞬間に携われて、一喜一憂できる喜びを感じながら、学生たちと共に同じ目標に向かって頑張っていきたいと思っています。

本校は平成23年4月より助産学科を併設し、「福岡看護専門学校水巻校」から「福岡水巻看護助産学校」と校名を変更し、装いも新たにスタートします。

これまでの看護学科（1学年 定員80名）に加え、助産学科（1学年 定員25名）の学生も増え、一層華やかで、賑やかになりそうです。



▲卒業前の注射の演習風景



▲国家試験に向けての決起集会風景



▲最後のホームルーム風景



▲卒業集合写真

# 合格 100%

沖縄

韓国・釜山

グアム

# ドキドキワクワクの院内旅行



## ◎ 沖縄旅行 ◎ リハビリテーション科 木村 敬吾

同期の友人と院内旅行に参加し、沖縄旅行を満喫させていただきました。

初日は天然記念物のマングローブが群生する東村慶佐次をホームグラウンドに、マングローブカヌーを楽しみ、二日目は透明度抜群の沖縄の海でスキューバダイビングを行い、海中散歩を楽しみました。また、夜はおいしい沖縄料理を楽しみ、友人達と旅の思い出を作ることができました。

今回このような機会をいただきとても感謝しています。次回の院内旅行を楽しみに、仕事にはげみたいと思います。

## ◎ 韓国・釜山 ◎ 総務課 築地 志保

1月16日から1月18日の2泊3日、同期4人で韓国に院内旅行に行きました。

免税店で買い物し、マッサージで癒され、チマチョゴリを着て記念撮影もしました。写真館のおじさんのチョイスで1人1人に合った個性的なチョゴリを渡され、美容大国ならではの妙にハイクオリティな写真の出来上がりに驚かされました。

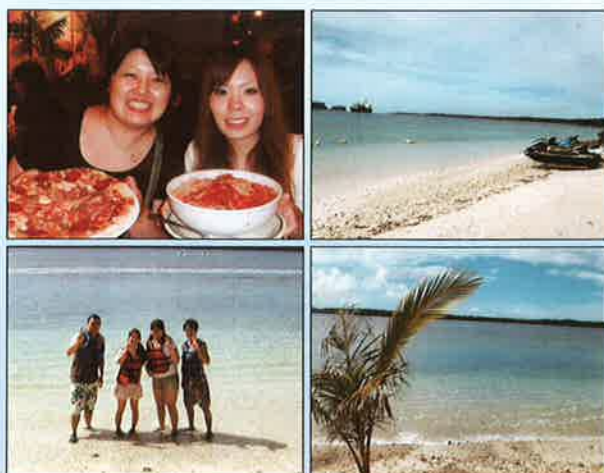
夜はホテルでマッコリを飲み、久々に4人でいろいろな話をして盛り上がりました。

1月の韓国は大変寒かったです。焼肉、サムゲタン、あわび粥など食事がおいしくて体はポカポカになりました。快晴に恵まれ、大変楽しい時間を過ごすことができました。



## ◎ グアム旅行 ◎ 5階 林 沙耶香 6階 松永 めぐみ

3泊4日でグアム旅行に院内旅行で行きました。海はとても美しく、きれいな魚がたくさん泳いでいました。ジェットスキーやバナナボートも体験でき、グアムの海を満喫出来ました。食事では、日本では食べる事がないほど大きなステーキを食べました。とても楽しい4日間を過ごせ、リフレッシュ出来ました。



## 写真部

写真部 金 茂成

今年2月から写真部が発足しました。正式に部として認められる部員数20名を軽く超え順調な滑り出しです。活動の一番の目的は写真を撮ることですが、撮影した写真を作品として院内に展示して皆さんにも楽しんでいただけるように計画中です。いろいろな場所に出かけて撮影する予定ですが第一回は梅の撮影に行ってきました。生憎の雨模様でしたが、カメラを濡らさぬように腐心しながら被写体と格闘しました。毎週水曜日に作品の発表会を行っていますので、興味のある方はぜひ見学に来てください。



## スポーツが好き バスケットが好き!!

医事課 福島 恵里香

私が所属している社会人(クラブチーム)バスケットボールのG-WILDというチームは2006年に結成し、今年で6年目のチームです。私が大学を卒業してから、大学時代に対戦していた別の大学の仲の良いメンバーや、バスケ仲間を集めて作ったチームです。今年の全日本クラブバスケットボール選手権大会には、九州2位で出場する事が決まり、日々、練習に励んでいます。

今の仕事は、夜勤もあり、両立していく事は大変な時もありますが、バスケは大好きだから、苦ではありません。皆さんも、何か自分が輝ける場所を見つけて、その力を仕事に活かしていけるよう、病院を盛り上げていきましょう!!

